



R. I. 第2620地区 静岡第グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第223号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 千葉 慎二 幹事 三田 明宏



広重版画より 三島 朝霧

第2307回例会

2021.6.10晴

司会 秋山恭亮君

ロータリーソング 「我等の生業」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶 副会長 森崎祐治君

ロータリーは大人の学園

高崎ロータリークラブの田中久夫さんの「ロータリークラブへ入ろう！」という本が幻冬舎ルネッサンス新書からこの6月発刊されました。

本書は「ロータリークラブの魅力」を伝えるために著者が経験した実話をまとめたものでロータリーに入ると人生に対して新しい目的を発見することができる、仲間と一緒に学び、経験し、お互いが成長できる大人の学園であると述べられ、大学教授である著者がロータリークラブに誘われて入会に至る経緯からロータリーの成り立ち、活動の様子がたっぷり書かれています。職場とも違う、家庭とも違う大人の学園・ロータリークラブに興味のある人に読んでほしい、とっておきの一冊だと解説にありました。

まだ全てを読んでいませんが紹介の中の「大人の学園」という表現が何か言い得て妙だなと思いました。そして職場でも家庭でもない「場」であるとも言われて改めて「得難い居場所」だと思った次第です。

また、この学園から連想して「文化祭理論」なる余り知られていない理論を思い出しました。これは「文化祭は、お客としてより作り手のほうが楽しい」というシンプルな理論です。「文化祭で繰り広げられるのは人と人の関りである。勉強を尺度にした「場」ではなくそれぞれの興味と力を生かせる場となる。企画は触媒に過ぎずそこでの人と人の関りで気づかされたり、癒されたり、成長しながら自分を見出していく教育の場になっている。」と。

「客としてより作り手のほうが楽しい」この発想は「働くとは、傍を楽にすること、したがって自分は苦勞して汗を流す だから報酬が得られる」という職業への定番的思考をしている者にとっては改めて新鮮に聞こえます。

職場でないロータリークラブではこの「作り手の方が楽しい」という発想を持つことができる「場」つまり「大人の学園」ではないかと考える次第です。

次期会長というプレッシャーから逃れる、屁理屈かもしれませんが重たく考え過ぎずロータリーの価値の見出し方の一つの考え方にしたいと思っているこの頃です。

副会長としての最後の挨拶となりました。1年間ご清聴ありがとうございました。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	40/45	88.89%	41/45	91.11%
今回	44/49	89.80%	会員総数	51名

欠席者 赤池君、窪田君、橋本君、桃瀬君、和田君

幹事報告

幹事 三田明宏君

1. 6月行事

- ①10日(木)呉竹 夜間例会 クラブ協議会
- ②24日(木)呉竹 夜間例会 サヨナラ例会 激励・慰労会

2.

本年度(千葉年度)もコロナ禍の中でのスタートでした。各委員会も年度当初に立てた(例会等を含む)事業計画も思うように活動できない状態となってしまいましたが、できる限り考え得限りの活動が出来たのではと思っております。これもひとえに、この状況下において、会員皆様の深いご理解とご支援の賜物と考えます。この場をお借りして、心より感謝を申し上げます。

1年間、誠にありがとうございました。

2020~2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

ロータリーは、機会の扉を開く

クラブ協議会

SAA

古屋英将君

1年間SAA委員会にご協力ありがとうございました。
ベテランの栗原さんと柴崎さんに教えていただきながら、私も含む新人3名が動くという役割の予定でした。しかし栗原さんと柴崎さんが真っ先に動いてくれるので、新人3名はその背中を手本として動くという、とてもありがたく、素晴らしい関係で1年間の委員会活動を行うことができました。
私自身が途中交代の初委員長として、ご迷惑をお掛けしたかと思いますが、三島西RC皆さんに支えていただき感謝しかありません。ありがとうございます。
この経験を今後のRC活動に活かしていき、恩送りしていきたいと思えます。

クラブ広報委員会

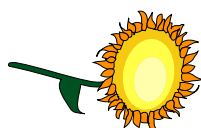
委員長 遠藤真道君

1年間週報を会員皆様のお手元にお届け出来た事に満足しています。
コロナ禍の中例会中止、テーブル会中止、各行事中止、1年間いろいろありましたが週報は100点満点出来たかと思えます。親睦活動委員会の皆様と協力して連携プレー等、我委員長ながらよくがんばったと自負しております。
委員赤池克斗君、加藤憲勝君、森藤賢君1年間ありがとうございました。ご苦勞様でした。

会員増強維持委員会

委員長 矢岸克行君

今年度は48名でスタートし、入会4名退会1名の純増3名となり、次年度は51名スタートとなります。会員の皆様と委員の方々のご協力に心から御礼申し上げます。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響もあり、会員同士の接触も限られた中、会員維持ができましたことも皆様の絶え間ない友情のおかげだと重ねて感謝いたします。ありがとうございました。



クラブ管理運営委員会

委員長 矢野敏夫君

今年度下半期のプログラムは、新型コロナウイルス感染症の影響で1月12日の4クラブ合同新年会が中止となり、更に例会も1月28日、2月4日、2月14日、2月25日と中止になってしまうなどの影響がありました。
苗栗研修中学生派遣事業が中止になったことで、3月11日、4月8日の夜間例会の変更、5月8日の三島市国際交流フェアが中止となり、5月13日の通常例会となるなど大幅な変更を余儀なくされましたが、皆様の御協力、特に国際奉仕委員会、親睦委員会などの御尽力によって、スムーズにプログラムの進行が出来ました。

下半期の出席率については以下の通りです。

1月 (例会1回のみ) 93.75%

2月 例会なし

3月 89.42%

4月 92.09%

5月 94.37%

半期平均 92.41%

新型コロナウイルス感染症の影響で例会等が中止になるなど、通常通りのプログラム進行ができないことが多かった割には出席率はよかったと思えます。
出席率の向上については、メイクアップなど皆様方の平日頃の心掛けが大切になってくるので、何卒よろしく願います。
以上本年度も会長、幹事、委員、事務局及び皆様方の御協力により、何とか一年間プログラム等滞りなく務めることができました。ありがとうございました。

親睦活動委員会

委員長 鈴木正二君

例会では活動テーマにそって明るい挨拶してお出迎えができたと思えます。
コロナの影響で、基本方針の1.メンバーの情報交換を密にして、企画力・実行力を発揮して会員と会員家族が楽しめる運営をするに対し、8回の委員会を開催し具体化しましたが、行事としてはクリスマス家族例会・家族親睦例会は中止となり、夜間親睦例会、テーブル会も途中から禁止になりました。
2.50周年に向け「親睦一座」の準備をするについては、5月13日の夜間例会で親睦一座の歴史を上映・解説でき、又ビデオテープをDVD化するなど整理ができました。来年度につなげられたと思えます。
行事には結び付けられないことが多くありましたが、委員会の活動としては委員相互の意見交換も活発にでき具体化できていました。
最後の行事のサヨナラ例会も簡素化で行いますが、委員皆様の一年間のご協力に感謝申し上げます。

ロータリー情報委員会 委員長 野田和秀君

1. コロナ禍下での新会員の勉強会・懇親会を下記の通り開催しました。例年と異なり、アルコール抜き、昼食をとりながらの2時間の懇談会形式での実施となりましたが、新会員の皆様から、活発な抱負や意見を述べて頂き有意義な会となりました。開催時期が遅れてしまいましたが、反ってよかったのかもしれない。

記

<日時>2021年5月20日(木)12時30分～

<場所>みしまプラザホテル

<新会員>(敬称略) 桐都都宏 宇江喜敦司 内田満洋
杉崎亮慈 町野暉 小塚英樹

<参加会員>会長 千葉慎二 幹事 三田明宏
情報委員会 野田和秀 鈴木郁夫

<情報提供資料>1994年10月開催の地区大会(内藤ガバナー年度)でのRI会長代理・玉村文夫氏の講演記録

2. 今年度、規定検討委員会が設けられ、亥角委員長のお働きにより、規定の見直し案が上程され総会決議を経て、次年度計画書に添付される運びとなりました。亥角委員長はじめ関係各位にこの場をお借りして、情報委員会として厚く御礼申し上げます。

職業・社会奉仕委員会 委員長 西本和夫君

<活動報告>

(見晴フェスティバルの参加)

毎年、恒例になっています見晴フェスティバルの参加を多くの会員とミセスロータリーの皆様と共に前日の下準備から行ってきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で外部からの参加は中止となりました。楽しみにしている園生が多いという事で見晴学園内部での10月3日と10月17日の2回に分けて開催という事になりましたので飲み物提供の参加とさせていただきます。

(ポリオ撲滅募金活動)

10月24日(土)に三島の3クラブとインターアクト合同でイトーヨーカドー三島店で行いました。三島西ロータリークラブの会員からも多額の募金をいただきました。

(見晴学園へ空気清浄機の贈呈)

3月11日の夜間例会時に空気清浄機7台の贈呈式を行いました。静岡新聞に掲載されました。国際奉仕委員会の財団からの補助金を流用させて頂き実行する事が出来ました。

(ロータリーの友へ投稿)

4月にロータリーの友に投稿しましたが、カメラ目線・集合写真・旧ロータリーのロゴマークが写っている物はダメと、難問だらけでしたが静岡新聞に掲載された写真を使っただけで無事掲載となりました。

新型コロナウイルスの蔓延が全ての年度でした。

9名での委員会でしたが、例年行っていた行事が全て中止となった寂しい一年でした。

国際奉仕委員会 委員長 原 久一君

今年度は、前年度に引き続き新型コロナ禍の影響により交換中学生派遣事業は中止となりました。

・7月に三島市の教育長さんをはじめ国際交流室、清水町長、担当課長、担当者へ交換中学生事業の件で挨拶に伺う。

・10月に清水町に行き町長担当課長と会いコロナ禍による影響で三島市との申し合わせにより「海外渡航はすべて中止」とのこと。交換中学生事業は断念せざるを得なくなりました。

・3月13日の苗栗50周年扶輪社50周年記念に合わせ当クラブ・会員の祝福メッセージをリモートにより送る。

・苗栗扶輪社のグローバル補助金への協力。

早期に新型コロナウイルスが収束し、交換中学生事業が再開できることを期待し報告とさせていただきます。



ロータリー財団米山委員会 委員長 柴崎恵子君

ロータリー財団へのご寄付有難う御座いました。

[ロータリー財団]

○年次寄付 前期 \$2300 後期 \$1600

皆様からの多額のご協力いただきました。

○ベネファクター

後期に\$1000の寄付を千葉慎二会長にご協力いただきました。

地区目標達成できました。千葉会長有難う御座いました。

○地区補助金

R財団より地区補助金 ¥200,000いただきました。

新型コロナウイルスの影響で苗栗へ交換研修中学生を派遣できませんでした。地区補助金による派遣計画変更が許可されましたので、クラブからの資金 ¥235,017 円と補助金で見晴学園へ空気清浄機7台を寄贈いたしました。見晴学園との交渉に職業社会奉仕委員会西本和夫委員長にご尽力いただきました。

[米山]

○米山記念奨学会への寄付

前期 ¥270,000円 後期 ¥230,000円

皆様からのご協力有難う御座いました。

○米山梅吉記念館

賛助金をクラブ予算から ¥153,000円 納入いたしました。

米山梅吉記念館創立50周年記念事業に対してクラブ予算より ¥153,000円 寄付致しました。

(内訳:会員51名 × ¥3,000)

活動報告

"RI手続き要覧・2019年規程審議会「クラブと地区に関する重要な変更」「クラブと地区に関する重要な変更」を勉強し検討会を行った。

- 2020-7-2 (第1回) 現行の定款・細則・内部規定を準備
- 2020-8-6 (第2回) 定款・細則・内部規定問題点の洗い出し検討
- 2020-9-3 (第3回) 改定案の検討、具体的な実施方法を検討
- 2020-10-1 (第4回) 改定案の検討、具体的な実施方法を検討
- 2020-11-30 パスト会長会議において改定案に対する意見聴取
- 2021-4-1 (第5回) 規程検討委員会最終意見を会長へ答申
- 2021-4-1 理事会にて定款・細則・内部規定改訂を承認
- 2021-5-6 臨時総会にて定款・細則・内部規定改訂を承認

おめでとう

会員誕生日 古屋君、柴崎君、秋元君
 入会記念日 西本君、宇江喜君、桐部君、平出君、前田(房)君、柴崎君
 奥様誕生日 三田君

スマイルボックス

6月10日のスマイル

- ◆ 遠藤(正)君、静岡本社を呉服町の再開発ビルに移すことが出来ました。1回目のワクチン接種終了です。夜の街に行けるのもうすぐです。
- ◆ 西川君、初めての卓話です。よろしくお願ひします。
- ◆ 関本(文)君、昨日新型コロナウイルスのワクチン2回目を打ち終わりました。特に異常はなくまずは一安心です。皆様も早く打ってください。飲みに行きましょう。
- ◆ 野田君、今週土曜日に2回目のワクチン接種です。さてどんな症状が出るのかお楽しみ。スマイルであればよいのですが。
- ◆ 澤田君、早退します。申し訳ありません。
- ◆ 桃瀬君、本日早退させていただきます。
- ◆ 和田君、今日は早退いたします。申し訳ありません。

6月24日のスマイル

- ◆ 森藤君、今月社長に就任しました。佐野さん、手続きありがとうございました。

ROTARY NEWS

会員の多様な経験が生かされた、イタリアでのワクチン接種キャンペーン

リカルド・デ・パオラさんは、イタリアにおける新型コロナワクチンの供給増加に伴い、予防接種会場での接種活動とスタッフ管理を求める多くの声が上がることを見越していました。彼はベロナ地域で働く医長たちと連絡を取り、クラブがどのように支援できるか聞き取りを始め、政府パートナーとなれるボランティアの動員に取りかかりました。デ・パオラさんはイタリア第2060地区の Pasta ガバナーです。2020年後半に多くの医長と相談し、ワクチン接種会場を設置・運営するボランティアの圧倒的な必要性を把握しました。そこで現地区ガバナーであるディエゴ・ヴィアネロさんと共に、地区内91クラブからボランティアを募りました。「私たち会員は、さまざまな職業を通じて多様な専門知識や経験を積んでいますから、それらをあらゆる場面で最大限に役立ててもらいたいのです」と、デ・パオラさんは話します。そうして彼は、2020年6月、コロナウイルス関連の奉仕を主な目的として掲げる、Marco Polo Passport D2060 ロータークラブの創立会員となりました。2021年1月のボランティア募集の呼びかけから一週間、150名以上のロータリアンとローターアクターから申し出がありました。現役または引退した医師や看護師、それに救急隊員などが含まれます。これらボランティアは、ワクチン接種を受け、都市ごとに異なる実施要綱を学びました。ボランティアの何名かはワクチン管理のために保険に加入しました。デ・パオラさんとヴィアネロさんは保険業者と協力して、引退した医師4名への補償を整えました。同じく各市町村とボランティア間の同意事項を見直すための弁護士の有志グループを作り、必要に応じて法的支援が行えるようにしました。

「会員の中には保険証書や各種書類を承認できる公証人もいました。私たちは単なるボランティアではありません。自分たちが活動している企業・団体やそのリソース、そしてこれまでに積み上げてきた経験をすべて生かして信頼を築いています」

会員は4つのグループに分けられ、午前と午後のシフトを担当し、患者のデータ入力やボランティアの調整を行いました。また、資格を有している人はワクチン接種も行いました。迅速で効率良いボランティアの働きを見て、現地医療当局は、地域内すべての新型コロナワクチン接種のスケジューリング、シフト調整、情報整理、報告を含むボランティア担当分野にロータリー地区を据えめました。デ・パオラさんによると、その後に地元衛生当局の責任者により、ワクチン接種数の増加と目標達成におけるロータリーの活躍が認められ、称賛を受けたとのこと。「タスクフォースのボランティアの名簿は400名を超えました。活動時間は数千時間となり、100,000名を超す地域住人がワクチン接種を受けました」とデ・パオラさん。ロックダウンの解除によって、この数はさらに増えることが期待されます。この活動は現在、イタリアの全地区で採用されています。デ・パオラさんとヴィアネロさんは、この活動が今後の先駆けとなるよう、ロータリーの「End Polio Now」に代わり、「WE STOP COVID」(新型コロナ阻止)を提唱しました。ワクチン接種会場で活動するボランティアは、ロータリー会員ではなくても、このバッジとピンを付けていますこの歴史的な活動は、ロータリーに対する国民の認識向上にもつながったと、ヴィアネロさんは話します。

「地域社会は今、ロータリーがもたらすインパクトを目の当たりにしています。これが、ロータリークラブの新たな力となるでしょう」

(週報担当:加藤憲勝)